

# カリブラコア シャル・ウィ・ダンス

*Calibrachoa hybrid*

【栽培契約品種（増殖禁止）】

開花・花の大きさなど性質の揃いよく、計画的に生産できるシリーズ。

## 【本種の特徴】

分枝よく、株はすばやくこんもりと広がり、連続開花性が強く、短日下で早く開花します。高めの pH 条件下でも葉は濃い緑色を保ちます。

## 【栽培】

### 用土

排水のよい無病の pH5.5~6.2 の培地

生産期間通して pH は 5.5~6.2 を維持します。用土の pH は 14 日ごとまたは高 pH の初期の徴候があるときなど定期的にテストすべきです。この初期徴候が pH を下げて鉄欠乏を避けるための処理を行う目安となる最初の徴候となります。

### 温度管理

夜温：10~14℃

昼温：21~24℃

最適温度より高いと分枝が悪くなり、ステムが徒長して花が少なくなる原因となります。

最適夜温にすることで最もよく分枝して最良の性質が発揮されます。

### 照度管理

光量は 50,000~80,000 ルクスを維持します。

光が弱いと徒長して花が少なくなります。

開花は春夏の長日期がもっとも花つきよく、一般的に 4 月頃から開花し始め、5 月下旬から 9 月がもっともよく開花します。短日下では栽培期間が長くなります。秋出荷の場合、日長がいちじるしく短くなる前に花芽をつけるために十分な栽培期間をみて早めに生産を開始しましょう。

### 灌水管理

ボトリチスの影響を受けやすいため多湿や葉をずっと濡らした状態にしないようにしましょう。

カリブラコアは過湿によって根の病気になりやすいため萎れさせない程度で灌水と灌水の間にやや渴き気味になるように管理してください。

常に適度な通気をしてください。

### 施肥管理

カリブラコアは多肥気味の管理を好みます。

バランスのよい肥料を窒素 250~300ppm で定期的に施肥をして必要であれば鉄分を加えます。

必要に応じて微量要素剤も補給してください。

塩基集積が起こったら灌水の 3 回に 1 回は純水を使ってください。

### pH管理

高 pH の早期徴候（新葉の葉脈間が黄化）を定期的にチェックしてください。定期的な土の pH テストは回復が困難な目に見える症状が起こる前に pH の変化を確認できるすぐれた方法です。

硫酸鉄の葉面散布は軽い欠乏症を軽減することはできますが長期的な効果はなく、またもし誤って使用した場合、葉や花に葉害を引き起こします。

定期的な酸性肥料の施用または植物をキレート鉄に灌注処理することで pH レベルを最適に維持することができます。

## ピンチ

基部からの分枝を良くするために移植後 7～14 日にピンチします。ピンチをすることで株の性質、株張りがよくなりますが開花はおよそ 2～3 週間遅れます。

※ストレスのない活発に生育している株に 250～500ppm のフローレルを 1～3 回処理すると分枝がよくなるという試験結果が報告されています。

## 生育調整

生育を調整するために照度を高く、涼温にすることが有効です。

本シリーズは DIF によく反応します。

必要であれば、移植 2 週間後にビーナイン 1500～3000ppm の 1 回以上の散布が有効です。ボンザイ 3～8ppm の灌注も効果あります。

また植物が販売可能な大きさになってからボンザイ 1～8ppm 灌注すると生育が遅くなり、コンパクトな株を維持したまま花は普通の大きさで開花します。

生育期間の後半で矮化剤を使用すると開花が 1～2 週間遅れます。花芽が見えてからの散布は避けてください。

これらの矮化剤の使用例は一般的なガイドラインです。まず各農場の環境下で試験をしてください。

## 病害虫

害虫：アブラムシ、スリップス、ホワイトフライ、ハモグリバエ、キノコバエ

病気：ボトリチス、リゾクトニア、フィトフィトラ、ピシウム、黒根病

カリブラコアはいくつかのウイルスの影響を受けやすいのでウイルスフリーの母株からとった苗を使用することで健康な苗になります。

## 問題

## 原因

株枯れ	栽培用土の長期間の多湿（フィトフィトラ、リゾクトニア、黒根病）
開花遅れ	日長不足、遅い時期の矮化剤使用
過繁茂	用土へのアンモニア集積、低日照時の肥料過多、低日照と過湿、用土の過湿、リンの過剰
分枝不良	肥料不足、窒素不足、遅い時期のピンチまたはノーピンチ
株の徒長	低照度
クロロシス（黄化）	鉄欠乏、高 pH、窒素不足、用土の高塩基レベル

## 生産スケジュール（発根苗定植より出荷までの週数）

	10.5cmポット 1本/鉢	15cmポット 1～3本/鉢	25～30cmポット 4～5本/鉢
発根苗から出荷までにかかる週数	夏 5～6 冬 6～8	夏 6～8 冬 7～10	夏 8～10 冬 9～12